



東日本大震災 について考える

今回の未曾有の大災害では、自然がもつ圧倒的なパワーとその恐ろしさをまざまざと見せつけられました。現代の科学では全く太刀打ちできず、人間の力がなんと非力であったことか。今まで多くの日本人が自分の力で生きていたに違いありません。しかし、今回の災害で被災した人たちは自然の中で生かされていることを自覚し、生きていることに感謝する気持ちが芽生えたといいます。

津波で被災した地域の山々にも、今年も桜が咲いたそうです。真っ暗な夜にも、必ず朝は来ます。冬の寒さが厳しくても、必ず春はきます。被災した東北地方の皆様にも、そうしたつらい夜や冬を抜けて、復興という本当の春が来ることを強く願っています。

三遠メディメイツ理事長 小池茂文

CONTENTS

東日本大震災について考える
メイツの防災対策
災害時のセルフディフェンス
MIKI'S COLUM
インフォメーション
もしものときは「171」

Miki's Colum
三遠メディメイツの
ところを伝える



今の幸せを大切に

わたしたち人間の知識では、過去を説明することはできたとしても、未来を言い当てることはできません。では、震災が起こったときは、どうすればよいのでしょうか。もし、わたしが生き延びて動けるとしたら、家族の安全を確かめた後、すぐにメイツへ駆けつけるでしょう。でも、患者のみなさんは将来を心配するより、安定した透析生活を大切に、日々のちょっとした出来事にも微笑むことができるように、心のゆとりを育てていただきたい。今だからこそ、幸せを感じられることがきっとあるはずです。

今回の震災では多くの人が仕事を失い、多くの学生が就職の内定を取り消されました。そうした大変な想いをしている人たちを少しでも応援できれば…。そこで考えたのが「被災者のための求人」です。採用職種は看護学生や看護助手で、引越し費用や支度金も支給することにしました。これからもできる限り、東北に笑顔や希望を送りたいと思っています。

三遠メディメイツ会長 三木隆治

MATES INFORMATION

メイツインフォメーション

東日本大震災の復興支援義援金

メイツグループは3月11日に発生した東日本大震災の義援金として、法人で200万円、職員全体で292,506円を寄付いたしました。なお、今回の震災で亡くなられた方々に哀悼の意を表するとともに、被災された皆様には心よりお見舞いを申し上げます。

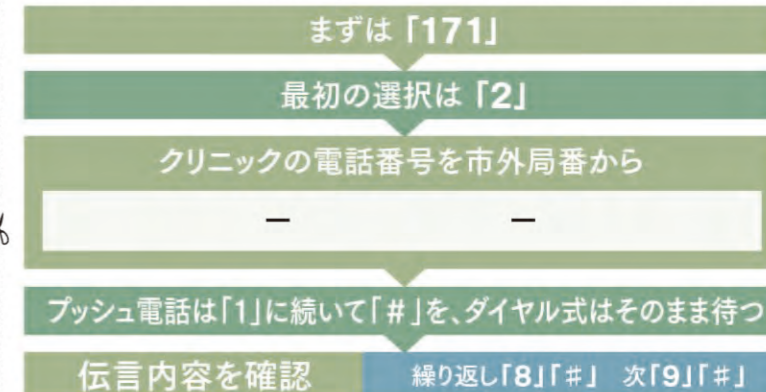


災害用伝言ダイヤル

もしものときは「171」

緊急事態では慌ててしまうものです。いざ地震が起きた時のために、切り取って携帯しておくことで安心です。

災害用伝言ダイヤルでクリニックの情報を得られます。



memo

豊橋メイツクリニック

内科・腎臓内科・透析内科・循環器内科・血管外科

TEL.0532-66-1010

院長：柴田 雅也
愛知県豊橋市平川南町73

☑ 豊橋鉄道 路面電車「井原」または「運動公園前」下車 徒歩5分
☑ 豊橋駅より20分

豊橋メイツ睡眠障害治療クリニック

内科・呼吸器内科・耳鼻咽喉科

TEL.0532-66-5678

院長：小池 茂文
愛知県豊橋市東光町50

☑ 豊橋鉄道 路面電車「井原」下車 徒歩3分
☑ 豊橋駅より20分

<http://suiminmukokoyu.jp/>

豊川メイツクリニック

腎臓内科・透析内科

TEL.0533-80-7575

院長：万見 利之
愛知県豊川市野口町ツライ51-1

☑ 名鉄豊川線「八幡」駅 下車 徒歩15分
☑ 県道5号線(姥街道)野口町交差点を北進、300M先を左折

岐阜メイツ睡眠障害治療クリニック

内科・呼吸器内科

TEL.058-272-9300

院長：田中 春仁
岐阜県岐阜市坂田4丁目15-20

☑ 「ふれあい会館」下車
JR「西岐阜」駅南側よりふれあいバス(無料)10分
JR「岐阜」駅・名鉄「岐阜」駅より岐阜バス20分
☑ 岐阜羽島駅・岐阜羽島ICより20分

<http://suiminmukokoyu.jp/>

磐田メイツクリニック

内科・透析内科

TEL.0538-33-0248

院長：松田 秀一
静岡県磐田市大原705-1

☑ 磐田駅よりバス「静岡産業大学前」下車、徒歩5分
☑ 東名高速 磐田インターより15分

磐田メイツ睡眠障害治療クリニック

内科

TEL.0538-39-0300

院長：新島 邦行
静岡県磐田市市中田648-1

☑ JR豊田駅(北側ロータリー)より徒歩5分
☑ 磐田バイパス森岡ICより南へ5分

<http://suiminmukokoyu.jp/>

知っていますか？

メイツの 防災対策

危機管理と災害ネットワークで 患者さんをケア&サポート！

災害に強い防災対策を推進

災害時の的確な対応や事前の安全対策など、メイツの防災活動の中心を担っているのが災害対策委員会です。地震や台風といった災害全般を想定し、建物や設備のハード面から、緊急対応やマニュアルのソフト面まで取り組んでいます。特に地震対策では、施設は全て耐震構造で、震度6強でも倒壊しない設計です。さらに、今年度から建設を開始する豊橋メイツは免震構造にする計画です。

沿岸に大陸プレートが集まっている日本は、世界的にも地震が多い『まさに地震大国』。東北に甚大な被害をもたらした東日本大震災のような巨大地震が近い将来、東海や関西でも起こるといわれています。そうした事態に備えて、三遠メディメイツでは患者さんが安心して治療を受けられるように様々な防災対策を講じています。



設備の安全対策については、医療機器や薬棚の転倒防止策をはじめ、火災報知器や消火器の保守点検など、数多くの安全チェックを行うことで防災管理の徹底を図っています。また、災害時の対応をまとめた地震マニュアルを作成し、患者さんにも配布しています。

ネットワークでつながる透析医療

患者さんの生命を左右しかねないだけに、医療施設にとって災害情報はまさにライフラインのひとつといえるでしょう。でも大規模な地震が発生した場合、建物や設備だけでなく、電話やFAXといった情報ネットワークが被る被害もかなり大きなものになります。また災害時の透析に関しても、患者さんの治療が支障なく行えるように、日本透析医会や各県透析医会の災害情報ネットワークを利用するなど、県内外の透析施設はもちろん、関係行政機関とも協力体制を築いています。

災害時のセルフデیفENSE

大地震が起こったときは、建物が被災するだけでなく、電気や水道などのライフラインが長期にわたり停止することも考えられます。患者さん自身も災害に対応できる自己管理を常に行っておきましょう。

透析治療に 不可欠な 水が止まる事態も！

血液から老廃物を取り除く透析液には、大量のキレイな水が欠かせません。1人の患者さんが4時間透析するだけでも、200L以上（風呂桶一杯半分）の水が必要となります。だから水道が止まったり、水が汚染されたりして、水道の水が長い間使えなくなった場合、患者さんの透析を継続することは難しくなります。



1人 = 200L

1 知っておきたい 災害時の予備知識 自家発電編

透析は 自家発電には頼りません！

非常用の自家発電装置は、建物の規模により消防用の設備として義務付けられているもので、その発電能力は限られています。たとえ設置してあっても、消火用ポンプやエレベーターなどを稼動するための装置です。そのため、停電時には透析はできないのが現状です。メイツグループの透析装置は、透析中の停電に対しては安全に停止できる機械です。

6 hour



透析を4時間行うには1000Wのドライバーを6時間使い続けるのと同じくらいの電力を消費します。

3 知っておきたい 災害時の予備知識 災害対策編

もしものときに備えた 準備と自己管理を！

通院中のクリニックが被災したときは、メイツグループや近隣施設での継続治療を想定しています。でも被災地が広範囲に及ぶと、数日間透析ができないケースも考えられますので、日頃から塩分や水分、カリウムなど自己管理を心がけてください。また、常用薬がすぐわかる手帳や検査データを持ち歩くことも大切です。糖尿病の患者さんは低血糖に備えて、**角砂糖やキャンディー**を用意しておきましょう。

2 知っておきたい 災害時の予備知識 透析液編

ほっておくと怖い！ 震災がもたらす睡眠への影響

震災は睡眠にも大きな影響を与えます。たとえば、停電時には睡眠時無呼吸症候群のCPAP治療ができなくなります。心配な患者さんには非常用の口腔内装置を作製しますが、横向きに長時間寝ることも対応できます。また精神的なショックから、不眠になる人も多いうえ、すでに睡眠治療を受けている人は、さらに症状が悪化する恐れもあります。



4 知っておきたい 災害時の予備知識 睡眠障害編

点線に沿って切り取ると裏面の「緊急時の連絡先」と一緒に携帯できます。